

# えんネット

Support Magazine 2018 No.05

Special Discussion

島根の多彩な医師の働き方  
キャリアを支援します!

## 日本一の子育て村

住民に愛され、信頼される病院を目指して



発行元

島根大学医学部地域医療支援学講座

島根県・しまね地域医療支援センターから財政支援を受けています。

## セミナー等開催

### 男女共同参画フォーラム

年に1回、医学生が社会、家庭やキャリアに関する意識を育てるための講義として、男女共同参画フォーラムを行っています。

大正大学心理社会学部人間科学科 准教授 厚生労働省イクメンプロジェクト推進委員会委員 田中 俊之先生をお招きし、「男性学の視点から男性の仕事中心の生き方を見直す」をテーマとして講演をして頂きました。

医学生にとって男女ともに、自分の働き方や家庭のビジョンなどを考える機会となりました。

### ワークライフバランスセミナー

北里大学一般教育部人間科学教育センター 教授 島津 明人先生をお招きし、医療人のワークライフバランスについて講演をして頂きました。ワークエンゲイジメントという新しい考え方、また仕事と家庭は相互に作用しておりどちらも充実させることが大切であるということなどを教えて頂きました。



### えんネット交流会

女性医師や医学生が集まり、働き方などについて楽しく話し合いました。



## えんネット HP 更新しました!

### キャリア支援 両立支援



- 相談窓口
- 就労環境改善の取り組み
- 託児付きセミナー等
- 交流会

### 育児・介護支援 情報提供



- 県内病院就労支援
- 県内自治体保育支援
- 支援情報へのリンク

### 学生教育



- キャリアモデル実習
- キャリア教育
- ランチョンセミナー

HPの更新 随時

<http://www.en-net.jp/>

### 連携 団体

- しまね地域医療支援センター
- 島根大学 男女共同参画推進室
- 島根県 赤ひげバンク
- 島根大学医学部附属病院
- 島根県医師会
- ワークライフバランス支援室

えんネット

ワークライフバランス推進事業

発行/島根大学医学部地域医療支援学講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

Tel: 0853-20-2558 E-mail: en-net@med.shimane-u.ac.jp



2018年12月発行





Special Discussion

# 日本一の子育て村

住民に愛され、信頼される病院を目指して



佐野：本日は、お忙しい中お集まり頂き、ありがとうございます。

私たち「えんネット」では、出産・育児・介護等のライフイベントなどで、働き方に悩みを抱える医療従事者のキャリア支援を行っています。

邑南町は、「日本一の子育て村」を目指しておられます。その中において邑智病院では数多くの取り組みがなされていると伺ったので、ここでの医療に

ご尽力されている女性スタッフの皆様のお話を聞くことを楽しみにして来ました。

まずは、邑智病院で医師として働いていて印象的なことを教えて頂けますか？

吉村：私は、全身を診ることが出来る点が印象的でした。多くの診療科に触れることができ、とても面白いんですよ。

入院から退院まで一人の患者さんを担当できる点も印象的でした。

川又：患者さんが温かくて、距離が近い点も印象的でした。幼い息子がいるのですが、「〇〇君、元気？」と診察の時、患者さんから聞かれることもあります。

吉村：患者さんとの距離は勿論ですけど、スタッフ同士の距離もとても近いですよ。

佐野：邑智病院ならではの医療がある

ということですね。総合診療体制である分、患者さんともスタッフとも距離が近くないのでしょうか。

川又先生と吉村先生は、まだ小さいお子さんがおられると伺いました。子育てと仕事の両立は大変だと思いますが、どうされていますか？

川又：私は、産後5カ月で復帰しましたが、院内に授乳室があるおかげで、完全母乳で育てることができました。

また、優しい患者さんも多く、子供のことを気遣って頂くことも多いです。仕事は30分早く切り上げさせてもらっていますし。

佐野：私も一児の母なので分かりますが、仕事をしながら、完全母乳はすごいんです。病院や町の方のサポートは大きいですね。

町といえば、平成20年度には、邑南町と連携して病児保育施設「コスモス」が



院内授乳室



荘田 恭仁 病院長  
産科婦人科医師





院内保育園・病児保育室コスモス



開設されたと言いましたが。

川又…私は安来の出身で、夫も県外勤務なので、子供の世話をお願いすることのできる家族が近隣にいません。だから、病児を預かってくれるコスモスはとても有り難いですね。子供は、病気がかりやすいですから。実は、今日も子供を預けて来ています(笑)

佐野…病後児保育の施設はあっても、病児保育の施設は少ないので、それが併設されているのは魅力的ですね。一人で育てるとなると尚更のことだと思います。

邑智病院としては、県内に先駆けて託児(ファミサポ)事業、めだかクラブ、も導入されたと言いましたが、この点についてはいかがですか？

吉村…私も川又先生と同様、両親と夫が県東部在住のため、子供を預けることのできる家族が近くにいません。しか

し、当直がしたいという思いが強く、めだかクラブを利用しています。めだかクラブがベビーマッサージさんを探してくれるので、その手間もなくて助かりました。

当直の時は、夜間、院内でベビーマッサージさんに子供の面倒をみてもらっています。保育園のお迎えもしてもらって、本当に助かっています。

川又…私は、当直は免除してもらっているのですが、吉村先生は本当にすごいと思います。甘えさせてもらっている気がして、後ろめたいです…。

佐野…いやいや。川又先生も育児と仕事を両立しておられて、お二人ともすばらしいと思います。出産というライフイベントを迎えても、医師としてバリバリ働いておられるお二人の姿は、これからライフイベントを迎える医師にはとても良いロールモデルになりま

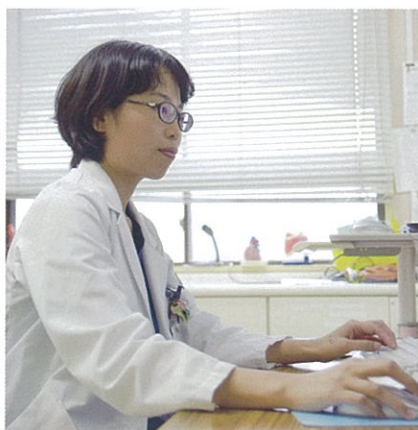
す。

吉村…私は、仕事が好きなので育児と仕事、両方を大事にしたいと思っています。

女性には出産・育児といったライフイベントがある分、男性と同じように働くのは難しいですが、できる限り近づけるように頑張っています。

佐野…先生方の仕事への熱意が伺えますね。

因みに、キャリアアップの支援もあると伺いましたが、利用されていますか？



開設されたと言いましたが。

川又…私は安来の出身で、夫も県外勤務なので、子供の世話をお願いすることのできる家族が近隣にいません。だから、病児を預かってくれるコスモスはとても有り難いですね。子供は、病気がかりやすいですから。実は、今日も子供を預けて来ています(笑)

佐野…病後児保育の施設はあっても、病児保育の施設は少ないので、それが併設されているのは魅力的ですね。一人で育てるとなると尚更のことだと思います。

邑智病院としては、県内に先駆けて託児(ファミサポ)事業、めだかクラブ、も導入されたと言いましたが、この点についてはいかがですか？

吉村…私も川又先生と同様、両親と夫が県東部在住のため、子供を預けることのできる家族が近くにいません。しか

吉村…はい。仕事が休みの日、学会に行く場合は参加費や宿泊費を病院が負担してくれます。私は毎月2回、内視鏡の研修に参加させて頂いています。

川又…私も学会に参加させて頂いています。決まった曜日の当直や土日は、広島大学、島根県立中央病院や島根大学の acute care surgery から先生方が診察等に来て下さいます。お陰でフリーの日を作ることができ、平日の学会にも参加できて嬉しかったです。

佐野…邑智町は、島根県の中心部からは遠いですが、山陽側との距離は近いんですね。先生方が研修に参加しやすい体制があると、キャリアアップも見込めますね。

吉村…はい。研修に行くことで、モチベーションも上がります。

佐野…邑智病院は、他にも医師の負担

軽減のために、診療看護師の養成にも取り組んでおられると言いましたが、看護師の日高さんは、平成28年度にNP(Nurse Practitioner)の資格を取得されたんですよね。

日高…はい。2年間、大学院に派遣して頂いて、NPの資格取得のための勉強をしました。動脈血採血やカテーテル交換などの特定行為に関する事だけではなく、臨床推論・病態生理学・薬理学など医学の分野も学びました。それらを活用し、先生方が働きやすい環境を作りたいと思っています。

川又…日高さんが待機をしてくれるおかげで、休みの日は第二待機でいいので助かっています。だから、救急搬送の患者さんが出た場合、電話がかかってくることはありますが、同乗はしなくていいですね。

吉村…私も日高さんには助けられています。



ファシリテーター  
島根大学医学部 地域医療支援学 准教授

**佐野千晶**

さの ちあき

島根医科大学卒  
「えんネット」相談窓口担当をしています。  
ワークライフ・バランスに関する調査研究、  
復職支援、女性医師支援等を行っています。



診療看護師長

**日高美晴 先生**

ひだか みはる

NP(Nurse Practitioner)  
診療看護師  
医師のタスクシフティングに尽力



総合診療科 医師

**吉村美咲 先生**

よしむら みさき

平成 27 年 自治医科大学卒



総合診療科 医長

**川又あゆみ 先生**

かわまた あゆみ

平成 23 年 自治医科大学卒



# えんネット



しまね地域医療支援センターの委託を受け、平成26年度より、島根大学医学部地域医療支援学講座内に両立支援のための相談窓口 **えんネット** が設立されました。

出産、育児、介護などのライフイベントなどで働き方に悩みを抱えている方々がキャリアを継続できるよう支援いたします。

また、「働き続けたい」という意識を育てるために、学生時代からのキャリア教育や、すべての医師の働きやすい職場を目指した、就労環境支援、託児等に考慮した両立支援等を行っていきます。

## 相談窓口

えんネットでは、現在の働き方に悩みを抱える方のための相談窓口を設置しております。個々に応じた復職への相談も受け付けております。専門科に応じた対応が必要な場合は、支援担当員としてご協力いただく、専門科の先生に相談を受けることも可能です。また、復職相談については学内外と連携をとりながら、段階的な支援を行っています。加えて、女子学生の女性特有の相談に対しても、女性スタッフが対応しています。どんなことでもお気軽に相談ください。

## セミナー等に託児をつけます

子育て中の医師も学びやすいよう、セミナー等に託児をつける支援を行っています。また、島根大学医学部附属病院クリニカルスキルアップセンターにてシュミレーショントレーニングの託児付受講もできます。



## 医師密着型実習 ~キャリアモデルを探しにいきませんか?~

医師密着型実習とは、島根でがんばる医師のもとで実習を行い、自分の将来像を探すことを目的にした実習です。実習では、医師の一日の始まりから終わりまで密着し、仕事以外の保育園の送迎や家事などの生活場面についても見学させていただきます。参加した学生さんからは「先生の結婚・出産の頃のお話も伺い、やりたいことをあきらめずに継続されている強さに自分も勇気ができました。」といった意見が聞かれました。

**医学生のみなさん**  
キャリアモデルを探しにいきませんか?  
島根でがんばる医師のもとで実習を行い自分の将来像を探してみませんか?  
【実施時期】 原増として長期休暇に希望する期間  
【実習医療機関】 受け入れ可能な島根県内の医療機関  
【費用】 交通費、宿泊費を支給いたします  
申し込み先  
地域医療支援学講座  
TEL: 0853-20-2558  
E-mail: career@medshimane-u.ac.jp



ます。患者さんの状態を日高さんがみて、「もつ、〇〇は要らなななな」ですが、中止しますか？」と率先して対応して下さったり、便秘等定型的な処方の場合迅速に指示受けついでたかいます。

**佐野**：医師が少ない地域において、特定行為のNurse (Nurse Practitioner) の存在は大きいようですね。今後の医療でも重要な課題ですね。

最後になりますが、邑智病院の医療に興味をもつ医師・学生にメッセージをお願いしてもいいですか。

**吉村**：はじめにも言いましたが、邑智病院は、多くの診療科に触れることができるので、進路に迷っている学生さんには是非来てみてほしいです。研修医でも、患者さんへの説明、救急対応をさせてもらえるので良い経験になると思います。

**佐野**：そういった、貴院では東京医科大学の初期研修医の先生方がこれまで28名地域医療実習をされてきたと伺いました。積極的に実習の受け入れをされているんですね。

**日高**：地域に病院がないと、住民が安心して暮らすことはできないのです。田舎ですが、先生方には是非来てほしいですね。私も働きやすい環境を作ることができるように、お手伝いしますので！

**佐野**：医師に対するサポート体制のある環境は、魅力的ですね。

本日は、子育ても仕事も両方大事にしている女性スタッフの貴重なお話を聞くことができました。キャリア支援を行う私たち「えんネット」にとっても、邑智病院の取り組みはとても参考になりました。ありがとうございました！

